6　芸術（音楽）

学校番号	１０１３

令和２年度　芸術〔音楽〕

教科	芸術	科目	音楽Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	音楽Ⅰ　改訂版「Ｔｕｔｔｉ」（教育出版）						
副教材等	自作教材						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「歌うこと」「楽器を演奏すること」「音楽をつくること」「音楽を聴くこと」の４つの分野を年間通して学習します。
・学習の到達度は、授業で配付するワークシートや実技テスト、取り組み状況で評価します。
・音楽経験は人それぞれだと思いますが、その中でお互いが刺激しあい、表現の可能性をひろげていってほしいと思っています。
・音楽が、生涯ずっと、みなさんの心の支えとなり、生きていく力となることを願っています。

2　学習の到達目標

個人の進度が把握できるように、毎回の授業で進度プリントを記入・回収し、チェックすることで、次の授業の課題に意欲的に取り組めるようにする。
音楽の諸活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:音楽への関心・意欲・態度	b:音楽表現の創意工夫	c:音楽表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	音楽や音楽文化に関心をもち、歌唱、器楽、創作、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱、器楽、創作の音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか、音楽をつくるかについて表現意図をもっている。	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付け、創造的に表している。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。
評価方法	観察 ワークシート	観察 ワークシート	演奏の聴取 提出作品	観察 ワークシート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	題材名	学習内容	主な評価の観点				題材の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	～声に出して歌おう～	【歌唱】 ・校歌 ・世界に一つだけの花 ・おおシャンゼリゼ	○	○	○		a:歌う喜びを味わい、イメージをもって歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 b:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気や特質を感受しながら、歌詞の内容と関わらせてどのように歌うか、表現意図をもっている。 c:表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身に付けている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	～楽器に親しもう①～	【器楽】 ・パッヘルベルのカノンなど	○	○	○		a:リコーダーの音色や奏法に関心をもち、それらを生かして演奏する学習に主体的に取り組んでいる。 b:音色やリズムなど音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 c:リコーダーの音色や奏法の特徴をいかした技能を身につけ、創造的に表している。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	～日本の響き・世界の声～	【鑑賞】 ・日本の民謡 ・民族音楽など	○			○	a:音色や旋律、リズムの特徴と表現上の効果との関わりに関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 d:声の音色やリズム・旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。	観察 ワークシート

2学期	～舞台芸術の世界～	【歌唱】 ・Tonight ・The sound of music 【鑑賞】 ・ウエストサイド物語などのミュージカル	○	○	○	○	a:それぞれの曲想や歌詞が表す情景や心情、楽曲の背景との関わりに関心をもち、イメージをもって歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 また、ミュージカルに関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 b:リズム、速度、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 c:曲想を歌詞や楽曲の背景と関わらせて、イメージをもって音楽表現するために必要な発声、日本語の発音、呼吸法、読譜などの技能を身に付けている。 d: 声の音色と表現上の効果との関わりを知覚、感受し、ミュージカルナンバー「オペラ座の怪人」とその演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、ミュージカル対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。	
	～楽器に親しもう②～	【器楽】 夢の中へなど	○	○	○		a:ギターの音色や奏法の特徴に関心をもち、それらを生かして演奏する学習に主体的に取り組んでいる。 b:音色やリズムなど音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 c:ギターの音色や奏法の特徴を生かした技能を身に付け、創造的に表している。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	ハーモニーを味わおう	【歌唱】 ・Happy Birthday to you ・ふるさと(合唱) ・その他	○	○	○		a:曲想と文化的・歴史的背景との関わりに関心をもち、合唱をする学習に主体的に取り組もうとしている。 b:旋律、ハーモニーを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 c:曲想を歌詞の内容や楽曲の背景と関わらせて感じ取り、イメージをもって合唱するために必要な歌唱の技能（発声、言葉の発音、呼吸法、姿勢や身体の使い方）を身に付け、協力し合い創造的に表している。 a:総合芸術オペラの特徴に、関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。	観察 ワークシート 演奏の聴取

3学期	～アンサンブルを楽しもう～	【器楽･創作】 クラスまたはグループでの器楽(創作)の発表	○	○	○		a:クラス（またはグループ）で選曲、創作した楽曲の特徴、楽器の音色や奏法などをいかして、表現することに主体的に取り組もうとしている。 b:グループで選曲、（または創作）した楽曲の特徴、楽器の音色や奏法などを生かして、音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか、または創作する表現意図をもっている。 c:創意工夫した音楽表現をするために、必要な歌唱や楽器、創作の技能をみにつけ、個性豊かに表現している。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	知的財産権	著作権について	○			○	a:音楽や音楽文化に興味を持ち、主体的に取り組もうとしている。 d:楽曲や演奏の価値を考え、聴いている。	ワークシート

※　表中の観点について　a:音楽への関心・意欲・態度　　b:音楽表現の創意工夫
　　c:音楽表現の技能　　d:鑑賞の能力

※　原則として、「歌唱」「器楽」「創作」の分野は a,b,c の３観点で、「鑑賞」の分野は a,d の２観点で評価をする。

※　年間を通して全ての観点について評価することとなるが、学習内容（題材）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。